

支部戦略プラン（支部健康づくり戦略） の策定について



令和8年10月23日
全国健康保険協会福岡支部

	課題
1	◎1人あたり入院医療費が全国平均を上回る（全国で11番目に高い、64,988円）※全国平均58,477円 〔地域別〕 全地域で全国平均を上回る。 〔業態別〕 「道路貨物運送業」「飲食料品以外の小売業」「医療業・保健衛生」が全国平均よりも特に高い。 〔疾病分類別〕 「新生物」による影響（寄与度）が特に大きく、「新生物」のうち、「気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞」の割合が継続して全国平均と比較して高い。
2	◎代謝リスク保有者の割合が全国平均を上回る 〔地域別〕 全国平均を上回っている地域が多く、「直方・鞍手」「飯塚」「有明」区域（二次医療圏）が全国平均よりも特に高い。 〔業態別〕 「飲食料品以外の小売業」「医療業・保健衛生」「卸売業」が全国平均よりも特に高い。
3	◎喫煙者の割合が全国平均を上回る 〔地域別〕 全地域で全国平均を上回り、「田川」「直方・鞍手」「飯塚」区域（二次医療圏）が全国平均よりも特に高い。 〔業態別〕 「飲食料品以外の小売業」「卸売業」が全国平均よりも特に高い。

※情報系システムから取得できるデータ等により、他支部との比較や時系列比較を行い、自支部特有の課題を抽出。

2. 福岡支部 健康づくり戦略（案）

中期戦略プランを踏まえ、当支部における「支部健康づくり戦略」の構成及び主な取組は以下の通りです。

福岡支部健康づくり戦略

I) 戦略目標

健診、特定保健指導、重症化予防、コラボヘルス及びヘルスリテラシーの向上等を通じ、加入者の健康の保持・増進を図るとともに、加入者が良質かつ効率的な医療を享受できるよう取組を進めることにより、健康寿命の延伸を推進し、協会の理念である加入者・事業主の利益の実現を図ります。

II) 戦略概要

福岡支部の1人あたり入院医療費は全国平均を上回っており、代謝リスク保有者及び喫煙者の割合についても全国平均を上回っています。

これらの課題に対し、保健事業の基盤となる健診や特定保健指導、重症化予防等の取組を推進するとともに、健康経営の推進やヘルスリテラシーの向上などに向けた各種取組を通じて、第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）における令和11年度に達成する目標「代謝リスク保有者（服薬あり者を除く）の割合を上昇させない（12.9%維持）」の達成、福岡県健康増進計画の基本的な方向である、①健康寿命の延伸、②個人の行動と健康状態の改善、③個人の健康づくりを支えるための環境づくりの推進、④ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりの推進、の実現に向けて、健康づくりを総合的に推進します。

2. 福岡支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）３年間の主な取組

《健康の保持・増進》

[個人の特性に応じた支援]

「代謝リスク保有者の割合」を上昇させないため、代謝リスク保有者について、血圧・脂質等の生活習慣病リスクや運動・食事習慣等に関するリスクの重複状況をふまえ、個々の特性に応じた保健指導や情報提供、医療機関への受診勧奨、その他健診受診後の継続的なフォローアップ等をより充実させます。

また、ライフスタイルや就労環境等に応じた保健指導の機会の確保による支援を推進します。

[健康経営の推進]

福岡県と共同で行っている「ふくおか健康づくり団体・事業所宣言」への登録について、代謝リスク保有者や喫煙者の割合の高い業種を中心に勧奨を行い、健康宣言事業所数を拡大することで、健康づくりに取組む県内の事業所を増やします。

また、事業所が健康経営を実践するため、自ら従業員等の健康づくりを進め、事業所全体の健康意識を醸成することを目指した各種取組（福岡県との連携により、保健師等の専門職を「健康づくり実践アドバイザー」として事業所へ派遣する等）を実施します。

あわせて、福岡支部におけるこれまでの事業所訪問のノウハウを活かし、健康づくりに関するキーパーソンとなる事業主等への働きかけをより一層推進します。

2. 福岡支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）３年間の主な取組

《健康の保持・増進》

[健診の拡充]

健診結果を活用した健康づくりの取組みを推進するため、健診受診率向上を図ります。被保険者については、受診状況を分析しながら事業所への訪問による生活習慣病予防健診等の受診勧奨や周知・広報を実施し、被扶養者については、令和9年度からの人間ドック健診及び生活習慣病予防健診拡充を中心に受診勧奨を行い、がん検診の受診向上にもつなげます。

また、生活習慣病予防健診、人間ドック健診の新規契約機関拡大を図り、特に実施機関が少ない地域についての拡大を重点的に取組みます。また、協会主催の集団健診を実施し、加入者の受診機会の拡大を図るとともに健診機関への実地調査等を適切に行い、必要な指導及び支援を実施することにより、健診の質の維持・向上を図ります。

[特定保健指導の量・質の向上]

特定保健指導の実施機会の更なる拡大のため、健診当日の保健指導を実施できる機関や新規契約機関の拡大を進めるとともに、事業所との連携を今まで以上に強化し対象者が円滑に保健指導を受けられる環境を整備します。また、実施機関を対象としたワーキングの開催や、実地調査時の情報提供・助言を通じて支援スキルの向上と実施内容の標準化を図ります。

支部の直営保健師・管理栄養士については保健指導の質をより一層向上させるため、学会等への参加を通じて最新の知見を習得するとともに、支部内外の保健師研修会の実施により専門知識や指導技術の向上を図ります。

2. 福岡支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

《健康の保持・増進》

[重症化予防の拡充]

入院医療費の適正化に向けて重症化予防の拡充に取り組みます。具体的には、血圧、血糖、脂質等の健診結果から、早期受診・治療につなげるための受診勧奨については、健診当日の受診勧奨に加え、後日の文書勧奨ならびに対象者の重症度に応じた電話勧奨を実施します。

また、がん検診受診者については、これまでの胸部エックス線検査の結果に基づく受診勧奨に加え、胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診の結果に基づく受診勧奨を実施します。

[ヘルスリテラシーの向上]

教育現場との連携による子ども健康教育を柱とした学齢期からの健康教育、令和6年度より実施している禁煙勧奨通知事業の効果検証に基づく実効性のある喫煙対策事業、自治体と連携した歯科健診の推進等、地域・職域の特性を踏まえた対応を行うことで、加入者のヘルスリテラシーの向上を図ります。

2. 福岡支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

《良質かつ効率的な医療の推進》

[医療提供体制の確保・充実に向けた取組]

福岡県における地域医療構想や医師確保計画等の策定や取組の推進に積極的に参画します。地域の現状や課題を把握し、病床機能の分化や医療機関機能に着目した医療機関の連携・再編・集約化、医療・介護連携の推進、医師偏在の是正等に向けた意見発信を行い、地域における効果的・効率的な医療提供体制の構築に向けて保険者としての役割を果たします。

[医療費の適正化]

加入者が質の高い医療を将来にわたり持続可能な形で受けることができるよう、協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進めます。特にこの3年間は、セミナーの開催や医療機関への働きかけによるバイオ後続品（バイオシミラー）の使用促進、地域フォーミュラの導入・運用に向けたデータ分析や地域の医療関係者との連携、セルフメディケーションの推進、の3つの取組について積極的に進めていきます。